

日光市公共施設適正化推進市民委員会会議録

件名	令和3年度第1回日光市公共施設適正化推進市民委員会会議		※10回目会議
日時	令和3年12月8日 14:00～15:05	作成日	令和3年12月9日
場所	日光市役所 本庁舎2階 中会議室203	記録者	資産経営課 加藤
出席者			
<日光市> 資産経営課長：星 資産経営課公共施設マネジメント係長：高野 資産経営課公共施設マネジメント係職員		<市民委員会メンバー> (出席委員、アドバイザー名簿別紙) ※アドバイザーはオンラインでの事前参加 (敬称略)	
議事内容			
<p>■配布資料 令和3年度第1回市民委員会会議次第、資料、名簿</p> <p>■議事録</p> <p>1. 開会</p> <p>2. 委員長あいさつ(委員長) 「皆様、こんにちは。年度末のお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。 今回は、主に令和2年度実績の報告ということで、皆様どうぞよろしく願いいたします。」</p> <p>3. 議 事</p> <p>○委員長 「それでは、これより会議次第に基づき議事に入ります。」</p> <p>(1) 令和2年度公共施設マネジメント計画実行計画(第1期)の進捗状況について 事務局より資料を用いて説明。</p> <p>○委員長 「ただいまの説明内容につきましてご質問、ご意見等がございましたらお願い致します。」</p> <p>○委員1 「今後4年間でさらに10万㎡とは、参考資料の延床面積を指すのか。」</p> <p>○事務局 「そのとおりです。」</p> <p>○委員2 「藤原総合文化会館は令和2年の4月1日から休館となっているが、今後の方向性や情勢について伺いたい。」</p> <p>○事務局 「耐震基準を満たしていないため、休館となっている。藤原で専門検討部会を組織し検討しているが、コロナの関係もあり、地元からは、ある程度方向性が確定するまでの間は、休館ということで了承を得ている。今後利活用の方向性が見えて来次第協議していく。観光情報センターは、引き続き使用する。」</p> <p>○委員2 「日光総合会館が廃止になり、日光地域において自治会関係の会議等を開催する際に、大勢で集まれる施設がなくなってしまった。周辺の利用できるホテルのコンベンションホールを使うとなると1～2時間でさえも結構な金額がかかってしまう。日光地域は、この状況が続くと問題が出てくる。他に利</p>			

議事内容

用できる公共施設や民間施設があれば教えていただきたい。」

○事務局

「日光総合会館については、4月以降残置物を整理している状況であり、間もなく整理が完了する。完了後には、また何かしらの動きは出てくると思うので、その際にはお伝えできればと思う。

また、令和元年度に専門部会の意見をもとにサウンディング型市場調査を行い、7グループから意見をもらったところであるが、コロナにより客足が激減し、事業者としても収益的なことを見据えた提案であったが、コロナ禍の中ではその提案内容を実行していくのは難しいという話があった。そのような背景もあり、行政としても足踏みしている状況。そのため、現在は、利活用の方向性が決まり次第、すぐに移行できるように準備を進めている。

代替施設については、費用的な問題や民間ホテル側の利用頻度の兼ね合いもあると考えられるので、調整していきたいと考えている。代替施設を利用する際の支援等も含め、今後方向性が確定し次第、地元の方々に話をしていきたい。」

○委員3

「現在、進捗率が3分の1であり、コロナの影響等もあると思うが、目標達成することは可能なのか。」

○事務局

「現実的に減らす場合にやみくもに数字に向かって減らしていけるかといえば、地域との調整もあり、難しいところであるが、早いスピード感を持ってやらなければならない状況。

実情は難しいかもしれないが、目標に向かって進めている。」

○委員2

「第1期の実行計画も間もなく終了するところであるが、縦割り行政の中で、温度差はあるのか。

各所属間でどのくらい公共施設マネジメントが進んでいるのかが見える化がされていないように思える。見える化されれば、各所属で進んでいないところや譲渡が進まない理由はどこがネックなのか、お金を使わないで施設をなくす方法があるのではないかなどを議論できる。

特に市営住宅や学校が6割と公共施設のほとんどを占めているが、進捗状況の詳細を聞きたい。」

○事務局

「温度差は、正直ないとはいえないが、令和2年度は実行計画策定後最多の14件完了となったことから、研修等で意識の醸成を図っていることもあり全庁一丸となり取り組んでいる。

今後は、さらにコスト意識を持ち、財政課等とも更に連携して進めていきたいと考えているところである。

学校については、大桑小学校への統合による小百小学校の廃校についてはすすんでいる状況。

市営住宅についても藤原地域においては、大原住宅への集約を行っているが、その中で全員転居し、集約化が完了した市営住宅もあるため順調に進んでいるといえる。」

○委員長

「様々な公共施設マネジメントの取組をしていると思うが、市民への周知は重要であり、周知の方法はどのように考えているのか。」

議事内容

○事務局

「ホームページ等で周知をしているが、今年度の年明けくらいから第2期の策定に向けて動いていくため、それに合わせて市民向けに広報等で周知していきたい。」

○委員4

「学校関連施設について、未着手となっているが、理由が長寿命化の為ということは、どういうことか。放課後児童クラブについても未着手が多くなっている理由を知りたい。」

○事務局

「学校関連施設については、今後も計画的に改修して長寿命化し使い続けていくという意味。方向性としては、統廃合ではなく、長寿命化ということが目標の施設。まだ、長寿命化に必要な中規模改修等の時期が迫っていないことから、着手する必要がないため、未着手としている。放課後児童クラブについては、学校の統廃合の動きと併せているため、未着手となっている。」

○委員長

「施設数のカウント数はどういう風に数えているのか。例えば、市営住宅で全て空いている部屋がある棟の扱いはどうなっているか。」

○事務局

「市営住宅に関していえば、〇〇市営住宅という単位で1施設である。例えば〇〇市営住宅のうちの1棟がすべて空き部屋になったとしても、その1棟だけ解体という流れにはならないため、棟ごとにカウニングできるのではないかという意見もあるが、分かりやすさ等も重視して、〇〇市営住宅を1施設としてカウントしている。」

○委員長

「他にご質問やご意見等ございませんでしょうか…ご質問、ご意見等がないようですので、令和2年度公共施設マネジメント計画実行計画（第1期）の進捗状況については以上といたします。」

○委員長

「では、次に公共施設マネジメント計画（第1期）期間における施設数及び延床面積の状況につきまして、事務局よりご説明をお願いいたします。」

（2）公共施設マネジメント計画（第1期）期間における施設数及び延床面積の状況について事務局より資料を用いて説明。

○委員長

「事務局からの説明が終わりましたので、只今の説明につきまして、ご質問等ございましたらお願いいたします。」

○委員2

「野口小学校及び所野小学校が日光小学校へ統合されたが、統廃合に対して良かった点、悪かった点を保護者にアンケートをとって集計等はしているのか。もしアンケートをとっているのであれば、どのような意見があったのか聞きたい。その他、統廃合によって環境も変わったが、子供たちへの影響はあったのか知りたい。」

議事内容

○委員 5

「せつくなので、私からお話しできればと思う。日光小に統合された野口小学校及び所野小学校に対しては、児童と保護者にそれぞれ教育委員会の方でアンケートを取っている。特に、批判的な意見はなかったようなことは伺っている。現在は大桑小学校と小百小学校というところで、その2校については、先ほどのアンケート結果の公表や、交流会を実施しているため、ある程度は統合することに対する不安を払拭できていると考える。また、交流会には保護者や学校関係者も入れるようにしている。感觸的には、大人は不安に考えているが、子供は意外とすぐ慣れている印象で、交流会も楽しそうである。

児童クラブについても不安に感じている点もあるが、子供は、なれてしまえば問題ないと考えられる。心配しているのはあくまで大人という感觸であって、児童クラブの送迎の時は、おじいちゃんおばあちゃんが送迎することもあるため、送迎する側は、近いほうがよいと考えているのかもしれない。

アンケートなどは、記録として残しておいて、次の小中学校の統廃合時に資料として使っていただくことは教育委員会には依頼していて、新聞で児童達へのインタビュー記事を書いてもらうということもしている。」

○事務局

「野口っ子クラブという野口小学校の放課後児童クラブがあったが、日光小学校へ統合され、野口小学校の子供達が日光小学校及び所野小学校の子供達との関わりに慣れたことから廃止となり、日光小学校の放課後児童クラブ1つにまとまった。やはり大人が心配するよりも子供達は環境に慣れるのが早く、適応できるためこのような結果になったのだと思う。今後も良い結果が残せるよう、この流れを繋げていきたいと考えている。」

○委員長

「他にご質問やご意見等ございませんでしょうか…ご質問、ご意見等がないようですので、公共施設マネジメント計画（第1期）期間における施設数及び延床面積の状況については以上といたします。」

○委員長

「以上で、本日用意された議題につきましては、終了とさせていただきます。進行につきましては事務局にお返しいたします。」

○事務局

「ありがとうございました。次第のその他の事項について、1件ご案内させていただきます。」

4. その他

- ・事務局より次の会議開催時期について事務連絡。

○事務局

「では、以上を持ちまして令和3年度第1回公共施設適正化推進市民委員会を終了させていただきます。」

以上